

令和7年度 第1回 エルシーブイ放送番組審議会

■開催日時 令和7年6月26日(木) 午後1時30分～午後3時00分

■場 所 エルシーブイ株式会社 本社会議室

■出席者 委員総数 5名(欠席2名)

出席委員	市川純章	委員
	河西滋子	委員
	赤沼喜市	委員
	井上淳哉	委員
	菊池大介	委員

放送事業者側 (9名)

常木真次	代表取締役社長
武居賢次郎	専務取締役
堀川久志	放送制作部 部長
小池利幸	放送制作部 報道制作課長
吉田和晃	放送制作部 コンテンツ制作課長
小池嘉則	放送制作部 放送コミュニケーション課
早川達朗	放送制作部 メディア編成課長
田中俊行	放送制作部 報道制作課
内藤由里子	事務局

## ■議 事

### 1. 審議事項

【審議番組】 「LCV NEWS」

<委員からの主な意見>

#### □番組を評価する意見

- ・1回観ただけでも今までとは違うと分かった。
- ・爽やかな感じが出ていて良かった。
- ・選挙の件は、タイムリーに放送出来ていた。
- ・SDGsを学ぶ辰野の小学校と高校の折り紙を学ぶニュースは、戦後80年を迎えて色々取り上げられているが、そういう点も汲まれていた。平和の意識が出ていて非常に良かった。
- ・ソフトボールの生中継は、キャプテンのインタビューなどもあり良かった。
- ・総合的にとってもバラエティーに富んだ内容、ニュース番組に力を入れている事が映像からも伝わった。
- ・非の打ち所がない100点と思っていたら、中継まで入っていたので120点。色々な面から観て全く問題ないと思った。
- ・多くの人を出す事が視聴習慣に繋がる。
- ・細かいところに目がいく事なく、違和感なく観られた。
- ・番組として統一されたテロップが見やすく、要約も的確でトピックが把握しやすい。
- ・個々のニュースの字幕もシーンに応じて柔軟に書式が使い分けられており、分かりやすい。
- ・選挙から地域のイベントなど幅広く、紙媒体やネット媒体ではカバーしきれないディテールや現場や出来事の温度感（人物の表情や場所の空気感）が伝わった。

#### □番組をより良くするための意見・提言

- ・スタジオの置物を置く位置が端っこすぎて、ぱっとしなかった。変な空間が空いてしまって、不自然な感じがした。
- ・ソフトボールの試合は片付けの映像しかなかったので、試合中の映像が入るとよかった。
- ・特殊詐欺のニュースでは、起こった事実だけ報道されていて注意喚起がなかった。最後に注意喚起など、視聴者の防犯意識を高めるひと言があった方がよい。
- ・園児と作る味噌のニュースについて、子供たちに毎朝お味噌汁を飲んでいる人を聞いて、味噌離れが言われている中で、子供たちにも味噌汁を飲んでいたか自問自答の機会になるのではないかと思った。
- ・下諏訪町のSDGsのセミナー「住んでよし、訪れてよし、観光都市を目指す」という活動で地域を動かす活動という事で良いニュースだったと思う。SDGsと簡単に言うが、果たして住民の方たちがどの位、SDGsに柔軟なのかという項目があった。その中のどれが何なのかというような事もこれから取り上げて頂ければと思う。
- ・華やかに見えて暗い感じがする。

- ・女性アナウンサーの洋服は気になる。ある程度、服装について話し合いがあっても良いのではないかと思う。女性はあまり肌を出さない方が好感を持てる。
- ・照明の問題だと思うが、顔がテカっていたのが気になる。画面右側が暗い印象がある。
- ・アナウンサーは、顔を出来るだけ隠さない方が良い。
- ・色が綺麗に出るようになった分、スタジオに戻った時にギャップを感じた。
- ・QRコードの表す URL に追跡文字列を入れることで「どの番組の QR コードからアクセスされたか」ログがとれるので、利用傾向などを調べる上で有効かと思った。印刷物なども同じで、QRコードを掲載する際にはセットで追跡設定をすることで、視聴者のリアルな行動や声が見えてくるかもしれないと思った。

以上